

選定基準別提案内容と事業実績の確認

| | |
|--------|------------------------|
| 施設名 | 茅ヶ崎里山公園 |
| 指定管理者名 | 神奈川県公園協会・小田急ビルサービスグループ |
| 指定期間 | 令和4年4月1日～令和9年3月31日 |
| 施設所管課 | 都市公園課（藤沢土木事務所） |

| 選定基準大項目 | 評価項目 | | | | 審査（評価）の視点（C） | 提案内容（D） | 指定期間 令和4年度の事業実績（E） | 所管課による課題分析等（F） | 事業実績の確認方法（G） | | | | |
|--------------|------------|-------------------------|------------------------|---------|--------------|---|--|---|--|-----|-----|---|----------------|
| | 選定基準中項目（A） | 小項目（B） | 配点 | 選定時の評価点 | | | | | 実績報告書 | 現地※ | その他 | | |
| I サービスの向上 | (1) | 指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等 | 基本姿勢及び管理運営方針 | 5 | 4 | 指定管理業務全般を通じた団体等の総合的な運営方針、考え方 | ○ 団体等の総合的な運営方針として、「安全で快適な利用空間の平等な提供」「より高い公益性の発揮」「効率的・効果的かつ持続可能な管理運営」に取り組む。 | ・朝礼後の毎日巡視し、利用実態の把握に努めて随時管理運営について見直しを行ってきた。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・今後も、継続して魅力ある公園づくりに取り組んでいくことが望まれる。 | ○ | | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | | | | | | 公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針 | ○ 公園の管理運営方針として、「人と自然がつながる、いきいき里山公園」を掲げ、「自然・地域と関わり育む里山環境」「ふるさとを感じるにぎわい・ふれあい交流の輪づくり」「防災機能の維持・安心快適な公園」「地域とともに茅ヶ崎北部地区の活性化」に取り組む。 | ・「茅ヶ崎里山公園倶楽部」の活動を支援するとともに、各種イベントを拡充して自然と地域との関わりや里山環境を育み、交流の輪づくりに努めた。 ・また、サインポスト設置及び運用を行い快適な公園利用を提供した。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・公園の特性を踏まえた交流の場づくりは、公園利用を促すきっかけとなることから、今後も継続することが望まれる。 | ○ | | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | | | | | | 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針 | ○ 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針として、「利用者の意見を反映し、様々な利用への対応を想定した公園運営」「近隣住民の声を耳を傾け、生活に配慮した公園運営」「神奈川県公園協会環境マネジメントシステムに則った環境負荷の削減、当公園の自然や施設を活かした自然環境の保全・緑化推進及び普及啓発」に取り組む。 | ・年2回利用者満足度調査を行い、その中の意見より対応できるものから実施した。公園外周の巡視やイベント等地域との関わりを持つようにしてきた。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・今後も、公園利用者や地域住民などの意見を取り入れた公園管理を継続していくことが望まれる。 | ○ | ○ | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | | | | | | 業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等（委託先の選定方法、県内（地域）企業への委託の考え方） | ○ 公園の特性を熟知した職員により、できるだけ直営で、きめ細やかな維持管理を行うことを基本とし、法律等に基づく業務、専門技術・資格・特殊な機器類を要する業務、危険を伴う業務等は、専門性の高い外部機関に委託することとし、地域企業等への発注を優先する。 | ・維持管理基準に基づき、指定管理者グループで業務を分担して各グループの特性を活かした管理を行った。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・グループ内での業務分担が、効果的な管理の実現につながるよう、常に検証しながら取り組んでいくことを期待する。 | ○ | ○ | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | (2) | 施設の維持管理 | 都市公園施設及び植物の維持管理業務の実施方針 | 10 | 8 | 公園の特性と課題を踏まえた維持管理の考え方 | ○ 公園の魅力を高めるため、区域ごとの魅力、特性や課題をふまえた植栽管理を実施する。また、プロフェッショナルやボランティア団体等との連携により、樹木の高木化や竹林の浸食といった課題に対処し、生物多様性を配慮した里地・里山の環境づくりに取り組む。 | ・保全部会を中心に有識者の意見を取り入れて管理計画を話し合い、管理運営を行った。 ・ナラ枯れ調査を実施し、被害木の拡大防止に向け、捕獲トラップを設置するなどの適切な措置を実施した。 ・協力団体と協働で、絶滅危惧種の生物調査の継続実施や外来植物の除去に努めた。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・今後も、有識者の意見を踏まえ、ボランティア団体等と連携して、公園の特性を踏まえた維持管理に取り組んでいくことを期待する。 | ○ | ○ | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | | | | | | 施設保守点検業務、小破修繕業務等の実施方針 | ○ 職員による日常点検の他、専門性が求められる施設の法定点検等は、施設管理のスペシャリストによる点検・管理を行い、危険箇所や故障の早期発見・補修による施設の迅速な安全確保や長寿命化を図る。 | 計画通り実施 ・計画的な法定定期点検を実施し、毎日巡視を行った。各種点検により設備等不具合が生じた場合は、直営作業若しくは専門業者への委託を迅速に判断し実施した。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・今後も、適切な施設管理を継続していくことが望まれる。 | ○ | ○ | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | | | | | | 清掃業務、受付業務、警備業務等の実施方針 | ○ 園内のゴミ拾い、落ち葉清掃、水面の葉の除去、ガラス片等危険物除去など、ゴミや危険物はできるだけ早く除去し、快適で安全な園内環境を保つ。 ○ 公園スタッフは、いつでも、誰にでも親切で丁寧な対応に努める。 ○ 公園職員やトイレ清掃員による巡回・声掛けを実施し、園内施設の異常の有無や落枝、枯損木等の危険場所の事前把握、芝生広場や遊具の利用マナーの周知を図るとともに、里山環境で草の茂みや死角となる場所への不法投棄などを防止する。 | ・毎日の巡視を行いながら、ゴミをできるだけ早く撤去するよう清掃管理を行った。 ・また、園内をはじめ各窓口での来園者に対し、親切で丁寧な対応になるよう努めた。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・園内の美観の維持や丁寧な対応は、利用者の満足度に直結するため、引き続き継続していくことが望ましい。 | ○ | ○ | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | | | | | | 樹林地や草地管理、樹木、芝生、草花などの植物管理業務等の実施方針 | ○ 樹木医による樹木の診断や土壌改良による樹勢回復など、これまで取り組んできた樹林地管理のノウハウや人材を活用し、良好な里山環境を維持する。 | ・園内の大木など、落枝等の危険性がある樹木に対しては積極的に診断を実施し、適切な対策を講じた。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・良好な里山環境を構成する高木について、引き続き、専門的な知見を基にした適切な管理に取り組んでいくことが望ましい。 | ○ | ○ | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | (3) | 利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金 | 利用促進の取組 | 10 | 9 | 公園の特性や利用状況（繁忙期・閑散期等）、新しい生活様式などの社会状況に応じて、多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、内容等（有料施設は除く） | ○ 里山の歴史や文化、自然について総合的に理解し、子供から大人まで成長に合わせて楽しめるプログラムや、茅ヶ崎里山公園の多様な施設、環境を活かし、世代や分野を超えて参加できる、健康や交流に関わるプログラムとして、下記を提供する。 ・ふるさとと懐かしさを伝えるプログラム ・いきいきと交流できる場の提供 ・地域とともにいきいき里山 ・周辺施設との交流 | ・学校の課外授業の一環として、里山学校の取組を継続（小学校：5回/年、中学校：4回/年）するなど、公園の魅力を伝える様々なプログラムを実施した。 ・里の家マルシェにおいて、地域の住民や事業者と連携し地域活性化の取組を開始した（クラフト教室等のイベント、ソーラークッキング等）。 ・茅ヶ崎市文化会館と協働でクリスマスコンサートを実施した。 ・地域伝統イベントを再開し、里山の自然を活かしながら幅広い年代が参加できる企画やイベントを開催した。 ・なお、春と秋の公園まつりについては、新型コロナウイルス感染症対策の一環として中止とした。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・様々なイベントやプログラムを用意し、利用促進に努めた。 ・今後も、様々な方が公園を利用する機会を確保していくことが望ましい。 | ○ | | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |

| 評価項目 | | | | | 審査（評価）の視点 (C) | 提案内容 (D) | 指定期間 令和4年度の事業実績 (E) | 所管課による課題分析等 (F) | 事業実績の確認方法 (G) | | | |
|--------------|-----------------------------|-----------------|----|-------------|--|--|---|---|------------------|-----|-----|----------------|
| 選定基準 大項目 | 選定基準中項目 (A) | 小項目 (B) | 配点 | 選定時の 評価点 | | | | | 実績報 告書 | 現地※ | その他 | |
| I サービスの向上 | (3) 利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金 | 利用促進の取組 | 10 | 9 | 有料施設における利用者増及びサービス向上に資する事業の実施方針、内容 | ○ 利用者ニーズを的確に把握して利用者サービスの向上を図るとともに、効率的な運営によりできる限り収益をあげ、県の効率的な行政運営に貢献する。 | ・年2回の利用者満足度調査ほか、各施設で常設アンケートを実施した。また、BBQ場の利用者にも公園を含めたアンケートを実施し、利用者ニーズの把握に努めた。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・把握した利用者ニーズを踏まえた管理運営に取組むことで、公園の魅力向上を図っていくことが望まれる。 | ○ | | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | | | | | 多くの利用を図るために行う広報・情報発信の工夫等 | ○ 本公園の魅力、新聞やタウンニュース、公園のホームページ、動画サイト・写真投稿サイトの活用など、幅広い媒体を活用し広報、PR活動を行う。 | ・ホームページに加え地域情報誌タウンニュース、広報誌小田急Voiceを積極的に活用し公園の情報発信を行った。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・様々なメディアを積極的に活用した情報発信は、今後も継続して取り組んでいくことを期待する。 | ○ | | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | | | | | 公園の特性をより効果的に活かすために行う自主事業の内容等 | ○ 利用者サービス及び公園の価値向上を図るため、デイキャンプスペースの設置や、軽食堂キッチンさとやまの運営、キッチンカーの導入などを自主事業として行う。 | ・「キッチンさとやま」の運営支援や、イベント・地元振興でのキッチンカー出店など、魅力向上に向けた取組を積極的に行った。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・利用者ニーズを踏まえた自主事業の展開は、利用者サービスや公園の魅力向上に資することから、今後も継続していくことが望まれる。 | ○ | | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | | | | | 利用料金の設定、減免の考え方 (有料施設がある場合のみ) | ○ 駐車場、自動販売機の料金設定については、民間も含めた同様の施設、近隣施設なども考慮した上で、公の施設として相応の額を設定する。 ○ ユニバーサルな対応を推進する観点から、「社会福祉事業を展開する社会福祉法人等非営利団体が事業のために公園を利用する場合」等に駐車場料金を減免する。 | ・駐車場の管理運営業者や飲料販売業者と調整を行いながら、公園に相応の価格を設定することができた。駐車料金免除等については、駐車場管理基準に基づき、適切に対応した。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・今後も、公共施設として相応しい管理運営を継続していくことが望まれる。 | ○ | | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | (3) 利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金 | 利用者対応・サービス向上の取組 | 5 | 4 | 接客や利用者との対話、公園利用ルールの利用者への助言、指導等の考え方 | ○ 子どもから高齢者、障がい者、外国人等、誰もが安心・安全・快適に公園を利用していただけるよう、スタッフ全員が、利用者との双方向コミュニケーションを重視したホスピタリティ溢れる接客をする。 | ・職員会議などスタッフが勢揃いする機会に手話の研修を行いながら、ホスピタリティな接客技術の向上を図った。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・今後も、様々な方が利用しやすい公園を目指し、コミュニケーションスキル向上に努めていくことが望ましい。 | ○ | ○ | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | | | | | サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の事業等への反映の仕組み等 | ○ 公園を利用されている利用者のみならず、これから公園を利用する可能性のある潜在的利用者を含め、「①ニーズや苦情を的確に把握」「②分析」のうえ、「③運営を改善」することで、「④利用者満足度の向上、新規利用者の獲得」を図る。 | ・各種アンケート調査では、幅広い年代、初めての来園者及びリピーターなどから偏ることなく意見を徴収することができた。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・利用者ニーズの適切な把握は、今後も継続していくことが望まれる。 | ○ | | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | | | | | 外国人、障がい者、高齢者等誰もが円滑に施設利用するための、コミュニケーションにおける工夫及び必要に応じた支援の方針 | ○ 外国の方への多言語での対応に努めるほか、「ともに生きる社会かながわ憲章」の趣旨を踏まえ、障がい者への合理的配慮、高齢者への配慮、子育て世代が安全・快適に利用できる環境を整え、ユニバーサルな対応を推進する。 | ・公園ホームページの多言語対応化を図り、ユニバーサルな対応を推進した。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・今後も、様々な方が利用しやすい公園を目指し、サービス向上を図っていくことが望まれる。 | ○ | | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | | | | | 神奈川県手話言語条例への対応 | ○ コミュニケーションボードの活用や筆談や大きな声で対応する用意ができて示す「耳マーク」をパークセンターに掲示する。 | ・各施設窓口コミュニケーションボードの設置や耳マークを掲示し利便性の向上を図った。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・今後も、様々な方が利用しやすい公園を目指し、サービス向上を図っていくことが望まれる。 | ○ | | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | (4) 事故防止等安全管理 | 日常の事故防止、緊急時の対応 | 10 | 8 | 指定管理業務を行う際の公園の特性を踏まえた事故防止等の取組内容 | ○ 日常の事故防止においては、想定されるリスクを事前に管理し、リスクの発生による損失を回避し、不利益を最小限におさえる「リスクマネジメント」の考え方を取り入れ、リスク抽出、分析・対策立案、実行、再評価により事故の未然防止を図る。 | ・全職員にリスクマネジメント研修を実施し、事故の未然防止に努める取組を行った。 | ・指定管理職員の事故が2件発生していることから、作業時の安全管理に留意し、再発防止に努めてほしい。 | ○ | ○ | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | | | | | 樹林地の過密化や巨木化等に起因する災害を未然に防止する点検等の考え方 | ○ 本公園は、既存樹木の老齢高木化や植栽樹木の高木化が問題となっていることから、日常の巡視において、地域住民や来園者の安全確保が重要となる箇所を中心に、枯損木や枯れ枝の状況や病虫害の状況を確認し、必要な伐採や病虫害防除、立入禁止処置等を速やかに行うとともに、台風シーズンの前には、集中的な点検を行い、災害の未然防止に努める。 | ・毎日の巡視の際、気候変動や倒木、枯損木、落枝の危険性を考慮しながら実施した。また、台風シーズン前など必要に応じて、集中的に巡視点検も実施した。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・事故の未然防止に向けて、状況に応じた取組を、今後の継続してことが望まれる。 | ○ | ○ | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | | | | | 事故・不祥事等の緊急事態が発生した場合や安全管理の妨げとならうる事案を認知した際の対応方針 (対応方針には、利用者以外に外国人や障がい者、高齢者が含まれていた場合を含む) | ○ 事故・不祥事等の発生時には、人命を最優先として「クライシスマネジメント」の考え方を取り入れ、被害の最小化、二次被害防止、速やかな報告・情報共有、復旧等事後対応、再発防止対策まで確実な業務フローにより対応する。 | ・消防災害訓練を実施し、発生時に対応できるように努めた。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・有事の際の人命確保に向け、継続的に訓練などを行うことを通じ、即応体制の確保や意識醸成に、継続して取り組んでいくことが必要である。 | ○ | | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |

| 評価項目 | | | | | 審査（評価）の視点 （C） | 提案内容 （D） | 指定期間 令和4年度の事業実績 （E） | 所管課による課題分析等 （F） | 事業実績の確認方法 （G） | | | | |
|------------------------|----------------|-----------------------|---------------------------|-------------|------------------|--|---|--|---|-----|-----|---|----------------|
| 選定基準 大項目 | 選定基準中項目 （A） | 小項目 （B） | 配点 | 選定時の 評価点 | | | | | 実績報 告書 | 現地※ | その他 | | |
| Ⅲ 団体の 業務遂 行能力 | (6) | コンプライアンス、社会貢 献 | コンプライア ンス、社会貢 献 | 5 | 5 | 法定雇用率の達成状況等、障害者 雇用促進の考え方と実績 | ○ 障害者雇用状況については、全ての構成法人が法定 雇用率を達成している。 | ・全ての構成法人が、法定雇用人数を充足してい る。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適 切に実施している。 ・引き続き、法定雇用率の達成に向け て、今後も継続して取り組んでいくこ とが望ましい。 | | | ○ | ・聞き取り |
| | | | | | | 障害者差別解消法に基づく合理的 配慮など、「ともに生きる社会かな がわ憲章」の主旨を踏まえた取 組 | ○ 障害者差別解消法及び「ともに生きる社会かな がわ憲章」の制定主旨を踏まえ、合理的配慮の提供や広報啓 発・研修等に取り組む。 | ・職員全体で行う会議において、かながわ憲章の目 的などについて研修を実施した。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適 切に実施している。 ・様々な方が利用できる公園づくりに向 けて、今後も継続して意識醸成を図っ ていくことが望まれる。 | | | ○ | ・聞き取り |
| | | | | | | 神奈川県手話言語条例への対応 | ○ 聴覚障がい者の方の安心安全な公園の利用環境を確 保するために、意思疎通、情報取得のための重要な手段 である手話を使いやすい環境づくりに努める。 | ・職員全体で行う会議において、手話の研修を実施 した。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適 切に運営されている。 ・今後も、様々な方が利用しやすい公園 を目指し、コミュニケーションスキルの 向上に努めていくことと共に、研修の継 続を期待する。 | | | ○ | ・聞き取り |
| | | | | | | 社会貢献活動等、CSRの考え方 と実績、SDGs（持続可能な開 発目標）への取組 | ○ 以下について、取り組む。 ・生物多様性に配慮した維持管理：希少動植物の保護、 外来種防除、公園の環境特性に合わせた生態系保全。 ・環境教育の推進：観察会等の開催、市民等との連携・ 活動活性化。 ・里山資源の循環（間伐材のチップ敷設やバイオマスボ イラーへの燃料活用） | ・環境特性に合わせた生態系保全を題材に研修会を 開催し、職員の共通認識のもと適切な維持管理に努 めた。 ・定例の観察会のほか、多くの自然及び里山体験が できるイベントを開催した。 ・公園内の間伐を行った際に発生した材木からチップ を作り、園路への敷設やバイオマスボイラーの燃 料として活用した。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適 切に運営されている。 ・今後も、SDGsを意識した維持保全や社 会貢献活動に積極的に取り組んでいくこ とを期待する。 | ○ | | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | (7) | 事故・不祥事への対応、個 人情報保護 | 事故・不祥事 への対応、個 人情報保護 | 5 | 4 | 募集開始の日から起算して過去3 年間の重大な事故または不祥事の 有無ならびに重大な事故等があっ た場合の対応状況及び再発防止策 構築状況 | ○ 過去3年間の重大な事故・不祥事はない。 | ・当該年度に重大な事故、不祥事はなく、適切に業 務を遂行した。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適 切に運営している。 ・引き続き、重大な事故や不祥事を起こ さないよう努めてほしい。 | ○ | | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |
| | | | | | | 個人情報保護についての方針・体 制、職員に対する教育・研修体制 及び個人情報の取扱いの状況 | ○ 公園利用者からの信頼を得るためには、利用者等 の個人情報を適切に管理することが必要不可欠であるとの 認識のもと、「個人情報保護方針」を公表し、諸規程の 整備や職員に対する研修の実施により、個人情報の適正 な保護に取り組む。 | ・当該年度に重大な事故、不祥事はなく、適切に業 務を遂行した。 | ・業務の基準及び提案書のとおり適 切に運営している。 ・引き続き、適正な取り扱いに努めてほ しい。 | ○ | | ○ | ・月例報告 ・聞き取り |

※「事業実績の確認方法(G)」欄のうちの「現地」の欄は、「指定期間 令和4年度の事業実績 (E)」欄の実績を現地で確認したことを示すもの。

選定基準別提案内容と事業実績の確認
(施設写真)

| | |
|--------|------------------------|
| 施設名 | 茅ヶ崎里山公園 |
| 指定管理者名 | 神奈川県公園協会・小田急ビルサービスグループ |
| 指定期間 | 令和4年4月1日～令和9年3月31日 |
| 施設所管課 | 都市公園課（藤沢土木事務所） |

※施設の概要が分かる写真を3～4枚程度掲載

| | |
|---|--|
|  |  |
| 風の谷・風の広場 (ふわふわドーム) | 谷の家 |
|  |  |
| 里の家 | ローラー滑り台 |